

不法投棄撲滅!!

京都府になんとゴミの山まで登場 新設の京都府警環境課がズバリ解決?

京都府の産業廃棄物不法投棄量、全国ワースト4位! この不名誉を改善すべく、京都府警は2月に「環境課」を発足させた。これまで府が確認した不法投棄現場はなんと600ヶ所以上。亀岡市のある雑木林ではダンプカー1500台分の廃タイヤ、コンクリート片、プラスチックなどが山をつくっていた。このゴミの山が今後の環境に与える悪影響を考えると不安になるが、ここまでくると撤去は不可能というのが府の見解。残念ながら、今のところ早期の見しかり不法投棄から京都を守る方法はない。しかし、不法投棄は年々悪質・巧妙化しているのが現状だ。また、廃棄物の排出元から不法投棄現場に持ち込まれるまでにさまざまな業者が介在しており、その間の手数料が暴力団に流れているケースも少なくない。不法投棄が多いのは主に市街地に近い山間部。「山紫水明」と呼ばれる京都だが、都から眺める緑の裏に産廃がてんこ盛りというのは、あまりにも恥ずかしい話じゃないか。

いまどきの歴史

一番新しい日本の一ページ

睡眠障害

まだまだ眠っている眠りの問題
誰が睡眠障害を発見・解決するのか?

大イキで眠る人、
イキが原因で眠れない人
睡眠障害もイロイロで...



山陽新幹線、それに引き続いて発覚したJR貨物の運転手居眠り事件をきっかけに「睡眠障害」が話題になった。問題の運転手は「睡眠時無呼吸症候群」と診断されたが、これは睡眠時に何度も呼吸が止まるため熟睡できず、長時間の睡眠時間をとってても十分な睡眠がとれない状態だとか。現在、睡眠障害をもつ運転手に対してのJRの対応が問題となっているが、JRの運転手に限らず長距離トラックの運転手、そして普段、車を運転している一般ドライバーにも当てはまらないか? 実際、一般道路や高速道路では、居眠り運転を含む前方不注意による死亡事故が多発しているのだから。睡眠障害はストレス社会に生きる現代人の多くが抱えている悩み。しかし、その反面、睡眠障害の認知や、睡眠クリニックでの治療が浸透していないのが日本の現状。今回のJRの事件をきっかけに多くの人が自分自身、そして愛する家族の健康に気を配り、積極的に睡眠の悩みに立ち向かって欲しい。

不法投棄するのは誰じゃ?

京都府警
天狗のコスチュームで
威嚇(?)パトロール



寂しい
先行きの歴史シリーズ

夏の風物詩
西暦2050年
川床も枯山水に...



水の話

水は石油よりも繊細な資源である 日本的発想で軽視するべからず

3月、京都で世界水フォーラムが開催された。日本ではピンとこない話だが、筆者が昨年過ごした中東では、水を得るために人々は血のにじむような努力を重ね、多くの金を払い、時には殺し合う。水はまさに汗であり、血であるのだ。さらに中近東では海水から真水(飲料水だけではない)をつくる水精製プラントに莫大なエネルギーを消費している。このため、石油に換算したエネルギー消費量1位と2位はアラブ首長国連邦とクウェートののだ。

一方、日本では飲用水でトイレを流し、車を洗う。「日本は水が豊富だから、ええやん」とはとんでもない思い違い。実は日本国民1人当たりの降雨量は、サウジアラビアやイランよりも少ないのだ! 日本人は飲料水の豊富さにボケているだけ。産業用の地下水汲み上げで地盤沈下はどんどん進んでいるし、今や夏場の給水制限もしばしば。このままでは水で悩む日も遠くない。飲料水が豊かなうちに、未来の水確保のために家庭や企業で、節水や排水についてもっと考えてもいいんじゃないかな? 水は石油よりも環境に敏感でか弱い資源なのだから。

文◎大塚 祐希

京都で活動するライター集団・大塚祐希事務所CEO。昨年のイスラエル滞在以来、異文化を紹介するTEXTREAM PROJECTを始動。20カ国に及ぶ人々とネットワークを構築し、ボーダレスな活躍を目指す。
HP◎<http://www1.ocn.ne.jp/tsukapon/>

イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP◎<http://www.d1.dion.ne.jp/ryouguchi>